

2024 年の復興米栽培の様子

復興米の田植え

ほっとすぺーす富田林・喜志っ子クラブ：令和6年6月2日（喜志町）

喜志小学校・富田林市役所新人職員：令和6年6月3日（喜志町）

東条小学校：令和6年6月6日（龍泉）











「奇跡の復興米の田植え」メッセージ
(喜志っ子の皆さん)

奇跡の復興米栽培委員会、JA 大阪南青年部、壮年部、喜志町内会そして喜志っ子の皆さんこんにちは！

6月に入り、喜志地区の田畑の緑も一段と深まっているように感じられますが、ご参加の皆さんもお元気で活躍のことと思います。

13年前の東日本大震災で大きな被害を受けた大槌町の復興のために富田林市や喜志町内会の皆さんからご支援をいただき、人絹の町風は大変感謝しております。

6月2日は、喜志町内会はじめ喜志っ子の皆さんとともに「奇跡の復興米」の田植えが行われるとお留しました。

私も皆さん方と一緒に田植えをしたかったのですが、残念ながら参加する事ができず申し訳ございません。代わりにメッセージをお送りします。

皆さん方が田植えをする稲は、2011年3月に発生した東日本大震災の大津波で大槌町が流されてしまいました。しかし、全て無くなった住宅の跡地に、奇跡的に生きていた3株の稲穂から育てた大切な稲です。

2014年、そのうちの1キログラムを喜志富田林市長様が、大槌町の復興を支援したいと富田林に持ち帰ったことがきっかけです。

その後、富田林市、JA 人阪南、喜志町内会、喜志町子ども会の方々が愛情を込めて育て上げ、お陰様で今では「奇跡の復興米」というブランド名までつけていただきました。

これからも「奇跡の復興米」を通じて富田林市と大槌町の絆をより一層深めていただきますようお願いします。

本日、笑顔で田植えをされた田んぼが、今年の秋にはたわわに実った稲穂が黄金色に染まることを想像しております。

今年の稲刈りには是非、私も参加させてください。

2024年6月2日

NPO 法人遼野まごころネット

理事 白 澤 良 一

復興米の稲刈り

ほっとすぺーす富田林・喜志っ子クラブ：令和6年9月8日（喜志町）

喜志小学校：令和6年9月10日（喜志町）

東条小学校：令和6年9月25日（龍泉）

富田林市役所新人職員：令和6年9月10日（喜志町）







蜀池妙たえ